

リサイクル三方式の
モデル団体設定

市では次の三方式毎に次の団体をモデルとして設定した。(計六町会)
 一、基準価格補償方式 (大湯町会、浪館三町会)
 二、指定業者(奨励金交付方式) (松森町会、西宮町会)
 三、自主回収方式 (河館三町会、曙町会)

地区連合町会長会議ひらく

この会で、各地区からの問題20を次の六題に絞った。
 一、合浦公園整備充実の計画と見直し
 二、除排雪に関する地域別テレビモニター入の件
 三、電気料補助基準に対する市の考え方の件
 四、市内の公共下水道、道路側溝の整備計画の件
 五、交通渋滞解消のための海岸大橋(仮称)建設の見直しに関する件

不良ゴミ収集所

市内三、三ツツケ所のうち不良収集所六ヶ所だけモニターより指摘されたので、該当町会長へ整美方をお願いし、町長等も現地巡回した。

ゴミの新しい収集法は十月一日から延期

中部地区の一部、十七町会対象に、指定業者へゴミ収集を委託することに決まっていたが、九月一日より実施予定のところ十月一日実施に変更。

ホリ袋や二回目の幹施

薬品は本年度の分、打切り、ホリ袋は秋から冬にかけての分、二注文にのび、幹施します。注文の回覧用紙必要な場合は、事務局へご連絡ください。価格は今のところ従前通り。
 事務向渡し、三ツツツケ町会へ四五ツツケ町会へ四五ツツケ町会へ四五ツツケ町会へ

東部八ヶ岳連合町会(会長大塚英五郎氏)
 梨・不清掃モニター見学、途中NHKも見学、40名、モニター見学へは当会よりホリ袋(十枚入り)一把ずつ進呈しています。

伸言 町連

高くつく 行政サービス

ゴミ収集を民間委託している市が全国的にかかりあふと思うが、とくに積極的な北九州市川崎市、三鷹市、山手市等の場合、効率面でも成績をあげているだけでなく、市民サービスの面でも殆ど問題がないという市が多い。
 ただ、業者へまかせ放しでなく、作業員の研修業者指導が大切であろう。

この自治体(市)に聞いても、「民間委託にすると五千万円かかるとすると、役所直営ですと三倍の一億五千万円かかるという。税金の効率的な使い方からみれば、随分ムダなことと思う。然し自治体が経費の安上がりをおわらうあまり民間に低い契約条件を押しつけると、業者が従業員に無理な作業を強いる恐れがあり、それが市民へのサービス低下につながる心配もある。

多くの市では直営と委託の双方を併用しているところが多く、双方の比較により改善をはかるようにしているようである。(資料自治体研修より)
 一方労働組合(自治労)は職場防衛の立場から反対するものが多いと思われるが、この通りだとすれば、納税者である一般の市民感情からは、大きくスルべきことにはなる。青森市のゴミ処理費は年間約十三億円

除排雪の費用とほぼ同じ、いずれも煙と水蒸気と消えて形として残るものは何ひとつない。

ワイヤレスアンブ(購入)

いつも総会では借りもので間にあわせていたが、町内婦人のつとめを機会に購入したワイヤレス三本付で十三万円也。ホリ袋や薬品の収益から支出した。

〇ねふた祭もお盆もすぎ、朝夕は肌寒いと云々もある。やがてくる寒さが連想され、少し淋しい気もする。心配された稲作も何とかはりそうとのこと、ホッとする。

秋二題

落葉草

エのぬくみに
ひそとあり



秋晴や

満船のフェリー
北へたつ
(かつお)

